寄付・寄贈

ありがとうございました。心より感謝申し上げます。
（令和6年7月1日～令和6年12月15日）

㈱大森工務店 様　鈴木　敏雄 様　第一生命保険㈱ 様　木村　憲治 様　㈱アイコン 様
みんなの家 家族会 様　こんふぉーと・リアン家族会 様　他匿名希望者　12名（順不同）

寄付金（令和6年度）累計額　732,270円

見守りカメラ導入のご報告

／法人本部　副主任　池田　信宏

「みんなの家『フェロー』」では、利用者様の安全と快適な生活を支えるために、最新の技術を取り入れた見守りシステム aams（アアムス）を導入しております。この度、aams に連動する『見守りカメラ』の全居室への設置が完了いたしました。これにより、夜間の就寝時や長時間お一人で過ごされている間も、スタッフがフロアにあるモニターからもご様子を伺うことができ、より安全性が高まりました。

見守りカメラはプライバシーに配慮しつつ、リアルタイムでの状況把握を可能にするため、必要な情報を職員に提供します。これにより、職員は利用者様の状態を常に把握し、迅速な対応ができるようになります。さらに、一部の利用者様にはすでに導入しているベッドからの起き上がり検知『感圧センサー』も、必要に応じて今後導入する予定です。このセンサーは、利用者様がベッドから起き上がった際に自動で感知し、職員に通知する仕組みを持っています。これにより、特に体調に不安のある方や転倒リスクのある利用者様に対して、適切なタイミングでの支援が可能となります。

他紙掲載記事

2024年9月27日(金)に月刊「アンカー」様の取材でラッシャー板前さんと理事長、統括施設長が対談させていただきました。月刊「アンカー」12月号に掲載されております。

また、大阪府社会福祉協議会から発刊されている「ふくしおおさか」の（2024年特別号）に当法人の若手職員のインタビューが掲載されています。

どちらもだんでらいおんホームページ若しくは右記QRコードからご覧いただけます。

月刊「アンカー」　若手社員インタビュー

編集後記

新年明けましておめでとうございます。2025年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。今回の年賀号では、昨年度の活動を振り返りながら、私たちの取り組みをお伝えしました。班別レクリエーションやBBQレクリエーションでは、利用者の皆さんの笑顔が溢れ、スタッフも一緒になって楽しむことができました。特に、城南女子短期大学の学生さんが作ってくれたトロッピーカレーは、参加者全員から大好評で、地域とのつながりを深める貴重な機会となりました。特別企画として掲載した対談記事では、法人の未来についての思いが掲載されています。これからも、利用者の皆さんと共に成長し、より良いサービスを提供できるよう努めてまいります。本年もだんでらいおんと本誌たんぽぽ通信をご愛顧いただけます様お願い申し上げます。

（担当　森・池田）

DANDELION
No.43
特定非営利活動法人 だんでらいおん
たんぽぽ通信
令和7年 年賀号
―― 障がいの重度化・高齢化、親の高齢化に対応できる共生型の施設作り及び地域社会を目指して ――

発行元：特定非営利活動法人 だんでらいおん
発行責任者：久保　哲哉
〒546-0023
大阪市東住吉区矢田5-9-8
TEL：06-7668-1101
発行日：令和7年1月1日

あけましておめでとうございます

理事長　久保　哲哉

2025年は、私たち法人にとって設立20周年という節目の年を迎えます。

この20年間、私を含め勤続20年の職員は２名に限られますが、設立当初の想いを受け継ぎ、日々尽力してくれる多くの職員に支えられてここまで歩んでまいりました。

今年は、利用者様・家族様・関係者の皆さまとともにこの特別な一年を楽しみ、大いに盛り上げていきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年の報酬改定とこれから

昨年実施された報酬改定から間もなく一年が経とうとしています。当法人が運営する生活介護事業では、サービス提供時間による基本報酬の変更により、一時的に減収となりました。しかし、人員配置体制加算の新設や重度障がい者支援加算の増額、福祉専門職配置等加算の併給が可能となったことで、最終的には増収を実現できました。期待していた改定内容ではありませんでしたが、「サービスの質を高め、利用者様により多くの時間をご利用いただける事業所を目指す」という視点が、これからの福祉サービスにおいて最も重要だと考えています。

地域連携推進会議の取り組み

共同生活援助事業では、令和７年度より地域連携推進会議の設置・開催が義務付けられます。当法人では、努力期間内である令和７年３月中に第１回会議を開催すべく、会則の策定、参画依頼、利用者様や家族様への説明、職員研修など準備を進めています。地域連携推進会議が形骸化しないよう、外部の第三者評価の導入などを通じて運営の質を高め、地域社会との連携強化に努めてまいります。

処遇改善と人材確保への挑戦

昨年、処遇改善加算の柔軟な運用や引き上げが行われましたが、依然として人材確保には大きな課題が残っています。福祉業界内での人材競争を避けるためには、福祉から離れた人材を　再び惹きつけるための魅力的な賃金水準の設定が不可欠です。当法人では、令和７年度から大卒初任給を240,850円、短大・専門卒を230,750円に引き上げることを決定しました。さらに、現職の専門職にも見合う賃金の引き上げを実施し、職員全体の士気向上とサービス向上を図ってまいります。

最後に

福祉の仕事は「人を幸せにして、自分も幸せになれる仕事」です。その魅力をより多くの方々に伝えることで、福祉業界全体を盛り上げていきたいと考えています。

「だんでらいおん」にとっても素晴らしい一年となるよう、これからも努力を続けてまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

班別レクリエーション紹介

森川リーダー、中塚リーダー、髙井リーダー、三村リーダー

令和６年度はたくさんの班別レクリエーションを行い、色々な場所へ出かけました。
課外活動が多いのは、だんでらいおんの特徴のひとつです。
一部ですが、皆さんの楽しそうなご様子を紹介致します。
年度の後半も引き続きレクリエーションを実施して参ります！

真剣な眼差しでレジをみつめています。

入り口で写真撮影！

金魚と薔薇に囲まれてピース

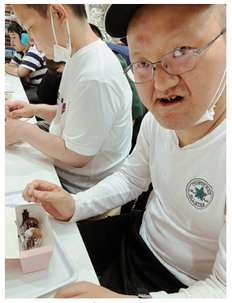
車の中でも楽しそう☆

ゲームクリアしたよー^_^

入るかなー

いきいき班：金魚ミュージアム（2024年8月）／なごみ班：ダスキンミュージアム（2024年7月）／ハピネス班：長居障がい者スポーツセンター（2024年8月）／ひだまり班：スポッチャ（2024年7月）

集中して創作されています。


さあ、食べるぞうー

金魚の集まりで楽しいー

ガストでごはんを食べました！

今から楽しむぞー♪

みんなでハイチーズ！

BBQレクリエーション

／生活介護こんふぉーと　副主任　中村　優公

今回、全体バーベキューを行うにあたり「屋外での夏らしいイベントを楽しむ」「レクリエーション（似顔絵を描く、動画を撮る）」「好きな飲み物を選んで購入し、よりバーベキューを楽しんでいただく」この３点に重点を置きました。「全員」が参加できるレクリエーションを考えてスケジュールを組み、集団でも楽しめる場を作ることを目標に考えました。食べる点においては、おかわりを希望される方もおられ、お腹いっぱい食べていただけたと思います。また、時間にも余裕があり、欲しい飲み物を各自購入する時間、人によっては公園を散策する時間も設ける事ができ、レクリエーション全体で充実した時間を作ることができました。 今回利用させていただいた『原池公園バーベキュー場』はとても広々とした空間で、みんなが一同に集まることができました。普段あまり関わりのない別グループの利用者様と職員が交流し、笑顔を見ることができた貴重な時間となりました。利用者様、職員共に「ゆっくりとバーベキューを全体で楽しむ」「散策で１人の時間も楽しむ」このことにより皆さんの笑顔が見られたレクリエーションとなり、担当した職員の財産となりました。

城南女子短期大学様が開発した「トロッピーカレー」を調理実習でいただきました。

／生活介護こんふぉーと　主任　西方　守

10月のだんでらいおんの調理実習では、城南女子短期大学の学生さんが開発した「トロッピーカレー」とコラボレーションしました。このカレーは、宝塚阪急が主催する第４回『宝塚カレーグランプリ2024』でグランプリを受賞したとのことです。高齢者や障がい者、子どもでも安心して食べられるよう、野菜は一口大にカットされ、栄養バランスにも配慮されています。味付けには赤みそを隠し味に使用し、パイナップルジュースやケチャップが加えられており、実際に食べてみるとまろやかな仕上がりでした。カレーが苦手な利用者様も、具材が一口大に細かくカットされていることや、サフランライスを使ったキーマカレーだったため、ペロリと平らげていたのが印象的でした。最後はお楽しみのデザートを食べて、皆さん大満足されていました。今回の調理実習を通じて、食の楽しさと栄養の大切さを再確認できた貴重な機会となりました。